

## 2021.4.1 新入職者を迎えて

(於：西横浜国際総合病院研修室)

このたびはご入職おめでとうございます。ここに到るには、ご自身の努力のみならず、ご両親さまはじめご家族の皆様、そして多くの先達の方々にお世話になったことと思います。共に心から感謝しましょう。

さて、今話題の明治時代に活躍した渋沢栄一のお話しをしたいと思います。ご存知のように渋沢栄一は現在 NHK の大河ドラマの主人公であり、3年後には新1万円札の肖像画となる話題の実業家です。昨年、北区王子にある飛鳥山公園に残された渋沢栄一の関連施設に行ってきました。多方面で活躍しましたが医療福祉関係では、癌研の設立や東京慈恵会の経営にも参画し、「できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるように行動するのが、我々の義務である」と唱えました。

約2年前の朝日新聞社の「幸せ」についての国民アンケート調査では、幸せに必要なものはまず第1に健康、第2に家族、第3に精神的ゆとり をあげています。新型コロナ禍の現在、コロナ感染に不安をかかえている人が沢山いらっしゃいます。未知の世界に踏み込む私達は医療のプロとして、自身を守り、最先端の情報を入れながら前向きに対応していかなくてはなりません。私達医療人が尻込みするわけにはいきません。

グローバルに正しい知識を入れて、できる限りのパワーを注いでいくことが私達の責務であり、これが一般国民の幸せにつながります。

チャレンジングな毎日です。私達は皆さんとともに、難問を解決しながら、ワクワクする日々を過ごしたいと思っています。信頼される仕事をして共に成長していきましょう。皆さんのご活躍に期待しています。

簡単ですが、入職式祝辞とします。このたびはおめでとうございます。

医療法人横浜博萌会理事長  
高木 啓吾